

ぶどうの木



わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より



「ご家族と

心を合わせて

読む便り

苦難を超えて

届ける希望」

御殿場特養 かなりやユニット

新型コロナ禍を乗り越える

目次

理事長挨拶

私たちの顧問弁護士

十字の園大会：温故知新

クリスマスを迎えるにあたり

各事業所のトピックス

十字の園職員紹介"VOICE"

永年勤続表彰

幸せレシピ：平和の杜編

ワークショップマナ・あとがき





一人一人の「事実」にふれて
から始める
～ハニ姉妹にならって～

Suzuki Atsushi

理事長 鈴木 淳司

今年度は、新型コロナ禍で職員の皆様には大変なご苦勞をお掛けしておりますが、皆様一人一人が努力を重ねて下さり、今日を迎えられました事、心より感謝申し上げます。

こうした時こそ私たちが大切にしてきたことを先達の方たちに学び、大切なものを見失わない様に行かなくてはなりません。

辛い時、悲しい時や喜びの時にも、歌で同じ思いを共感し励め合い、励まし合う事があります。朝ドラ「エール」の中で、聖歌隊と一緒に讃美歌「いつくしみ深き」が歌われていました。日本でも唱歌「星の世界」としてそのメロディーが知られ、私の好きな讃美歌の一つです。

聖歌隊の指揮者の役目は、音を外している人を注意する事ではなく、声の出ていない人、聴き取れないほどの小さな声の人の存在を、大切にすることとされます。どんなに小さな声でも、『あなたの声が無ければ、この聖歌隊は無いほうが良い』と語りかけることと言われます。私たちの回りには、困難や悲しみ、孤独の中で、声を出す事ができない方がおられます。声なき声で癒しと救いを求めている人々の存在を、

いつも近くに感じることは、奉仕者（ディアコニア）として最も大切な事です。

ハニ姉妹は、一部屋一部屋新しい感覚でその部屋に臨み、一人一人の具体的な事実「にふれて、初めて「いかがですか？」という言葉が発していました。

皆さんはご利用者の所にどのような気持ちで行かれますか？おやつを差し上げるため？お風呂にお連れするため？それらは仕事を行う目的ですね。もちろんその事を頭において訪ねるのですが、心にあるのは、その方に会って思いをお聞きたいという気持ちです。ハニ姉妹の言われた“事実”にふれる”とは、その方の思いを聞き、感じた心から支援を始めていくという事です。

人格を尊重することは特別な事ではありません。ご利用者と会い、その声を聴き、心を通わす喜びの中で支援をする事です。この事なしに十字の園の支援は有りません。これからも、皆さんと一緒に、毎日の新たな出会いを大切に、お一人お一人の思いを受け止めて、心の通った結びつきの中に、喜びで満たされる“園”を創っていきたく思います。

私たちの 顧問弁護士

Our legal counsel

「和の弁護士」 外岡先生

弁護士の外岡（そとおか）潤と申します。法律事務所おかげさまという事務所を運営しています。

事務所は新宿にあります。十字の園様の顧問弁護士として関わらせて頂いております。

顧問弁護士とは、ちょうどかかりつけの医者のようなものです。病気や怪我など、問題が悪化してから病院に駆け込むのでは手遅れですが、少し熱が高い、気分が悪いといった段階で、何度でもすぐにご相談頂けます。ですから、現場の皆様も何かお困りごとがあればお気軽にご相談ください。

ところで「弁護士」というと、トラブルをもたらす存在のように思われ、怖い、敷居が高いと感じられる方もいるかもしれません。ですが、私自身は自分のことを「和の弁護士」と自認しており、普通の弁護士さんとはそこが違います。

当事者の心を大事に

何事も相手を言い負かすのではなく、話し合いで解決することが大切と考えます。当事者の心を大事にし、感情面での行き違いを修正することで平和的にトラブルを解決することを常に意識しています。

弁護士にも医療という外科や内科のような専門性がありますが、私は介護・福祉系のトラブル解決に特化しています。



法律事務所おかげさま

Sotoka Jun

弁護士 外岡 潤 氏

いつでも頼って下さい。

現場では日々、様々な問題が生じますが、一番多いのはご利用者の転倒や誤嚥等の事故です。障害の事業所では、ご利用者の離脱やご利用者同士の喧嘩等が起きます。こうしたことは、本来法律に基づき迅速・適切に解決しなければなりません。現場ではなかなか法律のことまで手が回らないかと思えます。そのようなとき、いつでも頼ってください。

趣味は、学生時代に始めた手品を、今でも趣味で施設等をお訪ねしご披露しています（最近コロナで行けておりませんが）。袴姿で和傘を繰り出す「和妻」（わづま）という日本の伝統的な手品に憧れ、そこから日舞、生け花、茶道などさまざまな日本文化に興味を持ち、習うようになりました。習い事は、毎回新たな発見があり、また普段の仕事から離れ集中でき、良い気分転換になっています。

今、世の中はコロナウイルスの問題に覆われ、現場も日々大変な緊張を強いられていることと思えます。そのような中、少しでも現場の皆様の安心に繋がるような支えになりたいと願っています。これからもどうぞ宜しくお願い致します。



施設を訪ねた際にショーで披露される演技に利用者さんの熱い視線と拍手喝采で盛り上がります。

機関誌 ふどうの木について

ヨハネによる福音書15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。

神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結ぶことを喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。

「十字の園大会温故知新」

毎年十字の園大会の報告を掲載して参りましたが、新型コロナウイルスの影響により、2020年十字の園大会は中止となりました。そこで、今回は、十字の園の誕生の経緯から、十字の園大会が開催されてきた歴史を改めて振り返ってみましょう。

◆ 十字の園の始まりと十字の園大会

社会福祉法人十字の園は、1960年12月28日に、日本で最初に病弱や寝たきりの要介護者の老人ホームとして、老人福祉法の制度の無い中で生活保護法により認可されました。翌年の1月20日に「十字の園老人ホーム」(現浜松十字の園)が開設されました。初代理事長の鈴木生二氏、2代目理事長の綿鍋義典氏は創立時からの職員でしたが、3代目理事長の森本節夫氏は、開設後に就職をされたので、理事長に就任した際、理念・創立の精神を次世代へ伝えていきたいと「十字の園大会」を開催することにしました。第1回十字の園大会が11月に開催される直前、10月27日に十字の園を創られたハニ・ウォルフ姉妹が召天され、創設時の思いを継承する意義が強く意識される中、次世代のバトンタッチが必要な時に「十字の園大会」が誕生しました。



▶ 第1回十字の園大会開催当時の理事長森本節夫の開会あいさつより

- ① 十字の園の創業の精神を見つめなおし、問いなおしましょう。
ハニ・ウォルフ姉妹が10月27日に召天されました。「夕暮れになっても光がある」の御言葉は、職員にとっても、利用者にとっても究極的な御言葉です。この御言葉を維持しながら十字の園は、他の施設とは違う運営をしていくことができました。今回、各施設の県指導監査に立ち会う中で、十字の園に任せておけば安心だと行政からも高く評価されています。
- ② 公的介護保険について情報を収集し、対応していきましょう。
- ③ 地域のニーズに応え、果敢に挑戦していきましょう。各々の施設の増築計画が予定されています。伊豆高原十字の園のショートステイ居室の増設、浜松十字の園のショートステイ・ヘルパーステーション等の増築、御殿場十字の園の全面改築をしていく中では、新たな公的介護保険に耐えるハード(建物)の整備をしていきます。
- ④ 法人の創業の精神を繋いでいくための後継者を育成しましょう。代替わりをいかにスムーズに行っていくかが、法人として理事長としての課題である。施設長・部署を中心に後継者を育てていきたい。
- ⑤ キリスト教社会事業として先駆的な役割を担っていきましょう。
- ⑥ 今後の法人の報告を夢見て、年1回の「十字の園大会」を開催しましょう。いままでは、距離的に離れた中で各施設が独立的に運営をしてきたが、これからは年1回このような研修を行っていくことは必要です。法人理事、監事、評議員を含め全職員により「十字の園大会」と釘打って今後のことの夢を語ってみたい。



十字の園大会年度別「基調講演」「課題講演」

年度	(主 題) 基 調 講 演	(副 題) 課 題 講 演	開催会場
主題「十字の園の理念とゆくえ～ 21世紀を見据えて～」			
1996年度 第1回	長谷川力氏(聖隷福祉事業団理事長) 「これからの高齢者福祉」	事例発表	スズキ荘親月園
1997年度 第2回	雨宮恵氏(元奄美カナン園園長) 「愛と奉仕」	事例発表	御殿場YMC A東山荘
1998年度 第3回	鈴木唯男氏(元聖隷福祉事業団職員) 「まずは受容から」	事例発表	ライオン伊豆高原研修センター
1999年度 第4回	島田愼平氏(元聖隷福祉事業団職員) 「伝えるべきものは何か」	高井時男氏(尼崎老人福祉会) 老人介護の専門性を考える	県立浜北森林公園森の家
2000年度 第5回	高木直雄氏(元十字の園法人事務局長) 「人間として成長すること」	武田和典氏(きのこ老健副施設長) ユニットケアの進め	パピーラ御殿場
主題「十字の園における福祉の創造～既に据えられている土台の上に～」			
2001年度 第6回	鈴木フミ氏(元十字の園婦長) 「法人設立時の基本理念について」	利用者の立場とは 本間郁子氏(特養市民の会代表) 特養ホームが変わるために	天麗300伊豆高原保養所
2002年度 第7回	稲松義人氏(小羊学園理事長) 「十字の園の理念について」	職員の資質向上 津田耕一氏(関西学院大学講師) 福祉サービス向上と職員の専門性	松崎十字の園、松崎町環境センター
2003年度 第8回	長谷川了氏(聖隷学園理事長) 「出会い」	その人らしく生きることを支えるケアとは 三厨万紀江氏(オフィスM代表) 福祉サービスにおける接遇	県立浜北森林公園森の家
2004年度 第9回	岡本明夫氏(元御殿場教会牧師) 「土台をたしかめよう」	サービス基準指針を理解し、体現するために 武田和典氏(きのこ老健副施設長) 私たちが望む暮らし	御殿場時の栖ブルーベリーロッジ
2005年度 第10回	吉田好里牧師(新松戸幸谷教会:元伊東教会牧師) 「神に利用された人-鈴木生二の信仰と理念」	共に生きる(私たちの挑戦、その動機と目標) 高橋誠一氏(東北福祉大教授) 「新しいケアの文化創造へ -その人らしい生活を目指して」	伊豆高原 ライオン伊豆高原研修センター
2006年度 第11回	木村知己氏(久ヶ原教会牧師) 「安らかな死を見つめて -真実に直面するための援助-」	命の終わりを支える私たち 押川真喜子氏(聖路加訪問看護科) 「在宅で死ぬこと」	松崎十字の園、松崎町環境センター
2007年度 第12回	阿部志郎氏(横須賀基督教社会館会長) 「キリスト教社会事業」	その人らしく生きることを支えるケアとは…地域 龍尾和幸氏(東樹ホーム長)	国民宿舎「籠山寺荘」
2008年度 第13回	加藤はる氏(元浜松十字の園介護長) 「十字の園で大切にしてきたこと、していきたいこと」	「より質の高いサービス」の提供を目指して 米山武義先生(歯科医師)	御殿場ホテル時の栖
2009年度 第14回	内田知氏(伊東教会牧師) 「十字の園の働き～神と共に歩み、神の業に与える～」	「利用者の安全と安心を目指して」 あいあいリスクコンサルト「認知症リスクマネジメント」	伊東養護・伊豆高原
主題「創立の精神(こころ)から新たな福祉に挑戦(チャレンジ)」			
2010年度 第15回	天羽道子姉(ベテスタ奉仕女母の家理事長) 「日本における「ディアコニッセ」運動」	次の世代に継承されるもの -その人らしく生活するために 平井章(十字の園理事長) 「創立の精神から新たな福祉に挑戦」	遠州栄光教会 ホテルコンコルド浜松 十字の園50周年記念大会
2011年度 第16回	星野正興牧師(松崎教会牧師) 「キリスト教徒と社会福祉・自由・震災」	自由に生きるを保障する (一人ひとりの欲求をどう実現するか) 分科会で主題について話し合い、結果を分科会ごとに発表をした。	松崎教会 松崎雲見の民宿
2012年度 第17回	市川一宏氏(ルーテル学院大学)教授 「社会福祉の動向とキリスト教社会福祉への期待」	「生きる希望を創る」自立支援ケア 平井章(十字の園理事長) 「『自立支援ケア』過去、現在、これからへのメッセージ」	御殿場ホテル時の栖
2013年度 第18回	原田裕子氏(聖隷三方原病院チャプレン) 「主による絆～自然にかたちづけられた共同体から神に結ばれたまじわりへ～」	絆～「共に生きる」を考える～ 橋本泰典氏(あがらいん管理者) 「被災地石巻から、現在の課題と「あがらいん」の活動」 施設発表	伊東ホテル聚楽
2014年度 第19回	山本隆弘、宮島克利、森茂廣、上野貴一、三條洋二、鈴木啓之、鈴木淳司、鈴木新(施設長・理事)	「時代の流れの中で変わらないもの、変わったもの、変わってはいけないもの、変わらなければいけないもの」	松崎十字の園
2015年度 第20回	長澤道子氏(やまばと学園理事長) 「共に生きる」 坂本道子氏(聖隷クリストファー大学教授) 「ディアコニッセについて」	「地域の皆様と共に歩む私たち」 「理念の継承～既に据えられている土台に理念がある事をもう一度確認しよう～」	遠州栄光教会 クラウンパレス浜松
2016年度 第21回	奥田知志氏(NPO法人「抱樞」理事長) 「助けて」と言える社会 平井章(十字の園理事長) 十字の園への期待とわたしの中にある夢	「夢に向かって共に歩む」 すでに据えられている土台の上に	御殿場高原ホテル「さくら」
2017年度 第22回	佐々木炎氏(NPOホットスペース中原代表) 「人は命だけではいきられない」 法人運動会で融合	「地域と地域(施設)の融合」 すでに据えられている土台の上に	伊東市健康福祉センター 伊東ホテル聚楽
2018年度 第23回	増田樹郎氏「コミュニカント」とは 高木誠一氏「ほんとのケア」を探って 中村晴信氏(働く神)とソーシャルワーク	キリスト教福祉って 変えられるもの、変えられないもの テーマによる施設発表	下田セントラルホテル
2019年度 第24回	森田恭一郎氏(河内長野教会牧師) 「ケアと礼拝の関わり」	金谷節子氏(金谷栄養研究所所長) 「世の闇を照らす誠の光となれ」	浜名湖かんざんじ温泉 サゴロイヤルホテル

アドヴェント、待つことの意味

クリスマスを待ち望むアドヴェントの季節を迎えています。アドヴェントとは主がこの世に來りたもうという意味です。クランツの四本の蠟燭の光が増える毎に、主イエスキリストのご降誕を待つ喜びに満たされます。けれど私たちの社会は、待つことをしなくなった社会になりました。待つことは思い巡らすことであり、また痛みを伴います。相手からの返事を待つ時の心揺れる時間。意のままにならないもの、どうしようもないもの、じっとしているしかないもの、そういうものを前にした時、私たちは痛みを伴いながら、過ごします。

しかし現代社会は、待つことを避け、別のやり方、別の人という考え方をします。自分を遥かに超えているものに従うという心を忘れ、時が満ちることを待てなくなった社会。その中でクリスマスの訪れは、私たちに「待つこと、愛すること、希むこと」を思い起こさせてくれます。待つことの尊さを教えてくれる絵本「まってる」（デヴィットカリ、セルジュ・ブロック作）は、「まつ」ではなく「まってる」と人と人との間に生きる期待と不安が入り混じった切なさが伝わってきます。そうです。待つとは人と関わりをもつことへの意志や祈り、信じる思いのことです。「おやすみのキスをまってる。ママのケーキがやけるのをまってる。クリスマスをまってる。戦争が終わって、僕が元気に戻ってくる日をまってる。仲直りのきっかけをまってる。心配ないよの一言をまってる。『さようなら。ありがとう』って人生の最期に愛する人に言わなきゃいけない日を…」。

待つことは備えること、覚悟することです。自分の熱狂から身を引いて、来るべき者に自分を明け渡すことです。待つことは信じる思いから生み出される祈り。このアドヴェント、真の人となられた主キリストのこの世への到来を、私たちは共に待ち望みたいと思います。

日本基督教団 松崎教会 江口 充 牧師



昨年の松崎十字の國のクリスマス礼拝の様子



職員がクリスマスツリーに灯をともします



特養

伊豆高原 生活支援室

敬老祝会

ユニット毎に実施し、施設長からのお祝いの言葉や節目の方々への記念品の贈呈、入居者様全員へお祝いをしました。



満面の笑み♪



最高齢 107歳！茶寿のお祝いです。



紀寿（100歳）
元気いっぱいです。



敬老の日 祝い膳

ショートステイ

浜松

くるみ拾い



秋の味覚・くるみの実を拾いました。皮をむくとなじみのある殻が出てきます。殻を洗って乾かしフライパンでじっくりと炒ると殻がパカッと開きます。炒りたてのくるみはとても香ばしいですよ。

デイサービス

御殿場デイサービス

WITHコロナ



女性利用者によってもらったマスクつけてニコリ



消毒しまーっす！



距離保ちつつ工作に集中（真剣です）

みんなで楽しく対策してまーす。



研修中：いざというときの備えをしています。



コロナも怖いけど誤嚥も怖い
感染も誤嚥もしっかり予防してます。
（手前は歯科衛生士さん）



ガード越しでも楽しい食事

その他事業

松崎

～地域生活支援拠点が動き出しました～

相談支援事業所オリブ
障碍相談支援員 土屋 正子

拠点は、障碍の重度化や高齢化、親亡き後を見据えて、障碍者の生活を地域全体で支える機能を持ちます。五つの機能のうち相談支援事業所オリブが展開していくのは①相談②体験の機会③緊急時の受け入れ・対応です。みなさん体験しにいらしてくださいね。

住宅までのアプローチ



ダイニング



リビング



入口



寝室

職員紹介 STAFF INTRODUCTION
VOICE
 Introduce the face of the staff

専門分野を活かし、連携を取りながら
 総合的に高齢者の支援をおこなっています。

Q 十字の園に就職しようと思った理由は？

ダイビングの仕事をしていたのですが、勤めていたダイビングショップとの契約期間が切れ、自分でお店を出そうか悩んでいた時に、その頃伊東教会の牧師であった内田牧師に十字の園を勧められ、就職することになりました。

Q 様々な施設（伊東養護、第2アドナイ館、伊豆高原）を経験して思うこと。

それぞれの施設に個性があり、施設長の影響力や考え方は大きいと思いました。どの施設もそれぞれ違った形でキリスト教理念が生きており、先人の方々の想いを引き継いでいると感じました。ただ、職員すべてにそれが浸透しているかということ、そこは難しいのかなと感じることも多かったです。

Q 長い間勤めているので、十字の園の良い所を3つ挙げて下さい。

- ・福利厚生が充実しているところ
- ・理念や考え方、随所にキリスト教や聖書が根付いている。
- ・規定やルールがしっかりしているところ

Q 仕事をするうえで心掛けている事は何ですか？

一番簡単な事ですが、ご利用者と約束をしたら必ず守ること、時間に余裕を持って行動することです。焦らされるとダメな性格なので、いったん落ち着いて頭を整理してから行動するようにしています。

Q 休日の過ごし方

サーフィンやランニングをしています。他にもDIYや読書をしたり。日曜日は家族で礼拝に行きます。（最近オンライン礼拝に参加しています）



施設の礼拝も担当することがあります。



サーフィンは30年続けています。



OGAWA AKIRA

STAFF File.04

おがわ あきら

小川 晃

平成18年3月6日入社（勤続14年）

特別養護老人ホーム 伊豆高原十字の園
 対島地域包括支援センター 社会福祉士

好きな物：自然、だらだらすること、インドネシア料理
 嫌いな物：コーヒー、いろいろな物に縛られること
 趣味：ウクレレ演奏、DIY、ランニング、サーフィン、読書、断食

永年勤続者表彰
 Permanent service commendation

聞いてみました！
 これだけ長く働けた理由は何ですか？

永年勤続
 おめでとうございます。

<p>30年</p> <p>御殿場十字の園 井部 里美</p> <p>「利用者の方々はじめ、十字の園に関する皆様・家族・友人・恩師の暖かい支えがあったからだと思います。」</p>	<p>25年</p> <p>御殿場十字の園 杉山 亜紀子</p> <p>「あつという間でしたから特にはありませんが、自宅と職場が近かった事が良かったのかと思います。」</p>	<p>20年</p> <p>浜松十字の園 五明 毅</p> <p>「利用者の笑顔と趣味で息抜き」</p>	<p>20年</p> <p>アドナイ館 鹿野 勝幸</p> <p>「皆様に支えられてなんとか続けてこられました。今後もよろしくお願ひします。」</p>	<p>20年</p> <p>アドナイ館 野末 芳美</p> <p>「仲間と家族が支えてくれたから。」</p>
<p>20年</p> <p>第2アドナイ館 今井 優子</p> <p>「母や夫の協力があってから。」</p>	<p>20年</p> <p>第2アドナイ館 山村 葉子</p> <p>「ご利用者が喜ぶ姿を見るのが好きだから。」</p>	<p>20年</p> <p>伊豆高原十字の園 土屋 康美</p> <p>「共に働いてきた仲間や十字の園の支えによって、これまで継続できたことに感謝です。継続は偉なり、力なり。まさに自分の力になりました。」</p>	<p>20年</p> <p>伊東養護老人ホーム 里見 敏和</p> <p>「気負わず、その時々を向かい合っただけです。気づいたら20年経っていました。」</p>	<p>20年</p> <p>伊東養護老人ホーム 水口 朱美</p> <p>「十字の園の環境がとても自分に合っていたからだと思います。」</p>

勤続15年

三木 義史 浜松十字の園	杉山 秀美 御殿場十字の園	中村 小雪 伊豆高原十字の園
鶴見 圭秀 浜松十字の園	小見山 千明 御殿場十字の園	富岡 良太 伊豆高原十字の園
影山 博美 アドナイ館	苅部 愛理 御殿場十字の園	森野 美代子 伊東養護老人ホーム
高木 直也 御殿場十字の園	長田 美佳 御殿場十字の園	後藤 久美 伊東養護老人ホーム
鬼塚 歩 御殿場十字の園	山田 大輔 御殿場十字の園	内田 喜久 松崎十字の園
芹澤 保憲 御殿場十字の園	鈴木 卓 御殿場十字の園	
高橋 直輝 御殿場十字の園	富岡 加代子 伊豆高原十字の園	

勤続10年

塚田 えり子 浜松十字の園	安田 匡豊 アドナイ館	伊郷 利恵 伊豆高原十字の園
夏目 勝志 浜松十字の園	山田 奈三子 御殿場十字の園	平野 淳一 伊豆高原十字の園
師岡 洋子 浜松十字の園	依田 未帆 御殿場十字の園	辻 由起子 伊東養護老人ホーム
鈴木 宏明 浜松十字の園	田代 みどり 御殿場十字の園	山本 雅樹 松崎十字の園
堀 博美 浜松十字の園	橋本 康恵 御殿場十字の園	佐藤 宗 松崎十字の園
畑中 佳子 浜松十字の園	橋本 知美 御殿場十字の園	金原 忍 法人本部
宮本 隆久 浜松十字の園	鈴木 美由紀 伊豆高原十字の園	
犬塚 直子 浜松十字の園	鈴木 貴雅 伊豆高原十字の園	



幸せレシピ

平和の
編の杜

目玉メニュー

「かぼちゃプリン」

秋冬にかけて、かぼちゃのおいしい時期がやってきます。免疫力を高め、健康に良い食材であるかぼちゃ。そのかぼちゃをかぼちゃプリンとしておやつに食べていただきます。自然の甘み、かぼちゃの美味しさを是非満喫してください。

栄養士 佐々木貴子



おすすめレシピ

かぼちゃプリン

【材料：4人前】

FOODSTUFF	
かぼちゃ	90g
砂糖	32g
牛乳	170ml
鶏卵(Lサイズ)	2個
バニラエッセンス	少々
カラメル用砂糖	50g

通常メニューの紹介

冷やしきつねうどん
さつま芋サラダ
バナナ



【作り方】

- カラメル作り
 - 鍋に砂糖、水を入れて煮詰める。煮詰まったらお湯を入れてのばす。
 - すぐに器に流す。
- プリン液作り
 - かぼちゃの皮をきれいに剥き、蒸かしてやわらかくする。
 - 蒸かしたかぼちゃをボールに入れて潰し、ザルをとおして漉す。
 - 牛乳を鍋に入れて温め、砂糖を入れ溶かす。
 - 別のボールに卵を割りかき回して混ぜる。③の鍋が温まり砂糖が溶けたら、少しずつ卵を加えていく。
 - 牛乳と卵が混ざったら2回ほど漉す。
 - ⑤に②のかぼちゃを混ぜる。
 - ⑥にバニラエッセンスを加える。
- プリン完成
 - ①完成したかぼちゃプリン液をスチームコンベクション85℃で35分間蒸す。

POINT

カラメルはすぐに器に流さないで固まるので注意



ワークショップ・マナ クッキーの通信販売を致します



クッキー各種

おいしいよ!



就労継続支援B型事業所ワークショップ・マナで利用者のみなさんが作ったおいしいクッキーをお届けします。さらにお祝い等のご贈答用に再生紙を利用した手作りのメッセージカードが無料で付けられます。お気軽にご相談下さい。ご購入ご希望の方のご連絡ご注文をお待ちしております。

お問合せ先

就労継続支援B型 ワークショップ・マナ
TEL 0558-53-0123
担当：藤池 久美子

あとがき

「ぶどうの木」が、第50号を迎えました。第1号発行から数えて25年、過去号を見返してみると…様々な方、様々な出来事が毎号誌面を飾ってきたのがわかります。47号からの全面カラー化で、大きく印象が変わったと思われる方も多いでしょう。今後も誌面をどうしていかうかと、毎回取り組みを重ねていくことで、皆に親しまれる広報誌であり続けたいと思います(さく)。

皆様の温かいご支援を お待ちしております!!

〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川7220-11
社会福祉法人 十字の園
理事長 鈴木 淳司
振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345

表紙写真の説明

園遊会(敬老会)での一コマ。コロナ禍の中、長い間会えないでいるご家族に連絡し、手紙を準備。職員が式典で代読し、お渡ししました。目を潤ませ手紙を見つめていました。

